

**古書店**

**滅亡か、復権か――**

**デジタル化の道探る**

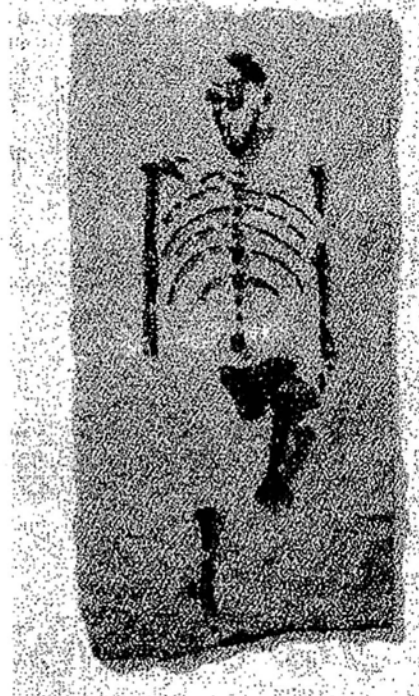
今月14日、ネイチャー・シネスマデルは五里霧中  
と時を同じくして「滅亡  
か、復権か」という刺  
激的な標題のシンポジウ  
ムを開いたのは、都内の  
古本屋が集まる東京都古

「古書に於いても  
情報を統合的に扱  
う電子化が必要」  
と訴えた。丸善や  
ブックオフなどを  
傘下に収め、出版  
再編の指揮を執っ  
た大日本印刷の森  
野鉄治常務は、紙  
と電子データ一体  
化型の「ハイブリ  
ッド出版」で知を

「連想検索エンジン」  
の開発で知られ、地域密  
着型のサイトで古書店を  
広げる次世代の流通構想  
を説いた。

つなぐ試みを行う国立  
情報学研究所の高野明  
彦教授は「ネイチャー  
誌が1論文単位で閲覧  
されるように、古書も  
拾い読みが一般化すれ  
ば、検索の可能性が広  
がる」と、古書ビジネ  
スの有望な鉱脈をつか  
みつつある。

書籍商業協同組合だ。学  
術論文と同様、古書も貴  
重な知的遺産だが、デジ  
タル化への対応の遅れか  
その危機感は強い。  
古書業界にはプロが査  
定した本を流通させる独  
自の市場があり、そのシ  
ステムが古本の適正価格  
を維持している。小沼良  
成組合理事長は「電子化  
は避けて通れないが、ピ



3Dでよみがえった人類の祖先  
「ルシー」(米テキサス大)